

## 第4回「高校生ホテル」実践報告

### 1 はじめに

本校の情報類型システム活用コースの取組の一つである、接客や宿泊清掃などのホテル業務を高校生が主体となって行い、仕事のやりがいやスキルを学ぶ実習「高校生ホテル」が今年で4回目を迎える。観光立市である神戸市で「高校生ホテル」実習を実践することで、サービス業の知識や技能の向上、職業観の育成を図り、自ら考え行動し、組織の一員として役割を果たし、将来地域に根付く人材を育成することをねらいとしている。昨年度までは、希望者のみで取り組んでいたが、今年度は活用コースの生徒53名全員で参加した。また、六甲荘の淀井様には、1学期の本校の授業にも来ていただき、出張講義をしていただいた。コロナ禍における様々な制約があったが、創意工夫し、充実した取組となった。ここでは、生徒の活動の様子と感想を紹介したい。

### 2 実施概要

- (1) 日程 令和4年11月17日(木)・18日(金)
- (2) 場所 公立学校共済組合神戸宿所  
ホテル北野プラザ六甲荘
- (3) 対象 情報類型システム活用コース  
2年生 53名
- (4) 内容 フロント、レストラン、ポーター、調理補助、客室清掃の5部署に分かれて1泊2日のホテル運営を行った。

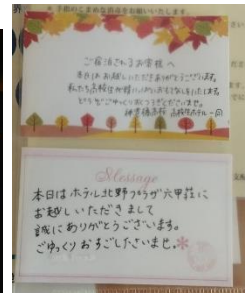
### 3 研修風景



#### 4 教育委員会へプレゼンテーション



#### 5 高校生ホテル当日の様子



## <R4年度ディナーメニュー>

ローストビーフと焼きカブ  
アボカドとサーモンサラダ  
茸のフリッタータ

淡路島のオニオンを使った  
フレンチオニオンスープ

秋鮭のポワレ  
～ブルーブランソース～

オーストラリア産サーロインステーキ  
淡路玉ねぎを使ったソース

イチゴムースとチーズケーキの盛合せ  
～赤ワインソース～

パンとバター

ホテルオリジナル珈琲

## 6 生徒感想

### 「高校生ホテルを終えて」2年1組 Iさん

私はこの高校生ホテルを通して、いろいろなことを経験し学ぶことができました。

一つ目は、清掃の大変さです。まず、お客様が使ったベッドのシーツや枕カバーを外します。そのあとのシーツをセットする作業が思っているよりもしんどかったです。ベッドを動かすのはとても重くて、シーツはしわにならないように、角は三角形になるようになど注意を受けてやり直しをすることもありました。掃除機もごみ一つも残らないように隅々まで机やいすを移動して、やっていないところがないように一つ一つの部屋をきれいにしていきました。チェックしてもらうときにごみが残っていて注意されることもありましたが、でも、それだけこだわってお客様に満足していただくというスタッフの方を見て、仕事をするってすごいことだなと思いました。

二つ目は、協力することです。3階から5階までの部屋を来ている人で仕上げないといけなくて、ベッドのメイキング、掃除機、メッセージカードのセット、バス、いろんな種類の仕事があって全部一人ではできないから分担してそれぞれが自分の仕事をこなしていくことが大事だけど、苦手なことやできないこともあるからお互いに協力し合って得意なことはやってあげたり、時間があれば手伝ってあげたりすることで、効率の良い作業ができました。

今回の最初で最後の高校生ホテルで、二つのことを学び経験することができました。大変なこともあったけど、お客様のためにおもてなしのアイデアを考え飾りつけをし、友達と協力してできたことがいい思い出になりました。この経験を就職に生かせるといいなと思いました。

### 「高校生ホテルを終えて」2年1組 Tさん

今回の高校生ホテルは、成功して終わることができたと思います。接客の経験はありましたが、ホテルのレストランという、落ち着いた場面で丁寧な対応をしなければならないことに緊張しました。いつもは客としてレストランで接客を受ける立場で、意識してウェイトレスの方の行動を見ていたわけではなかったので、自分が体験してみて新たな気づきがたくさんありました。当たり前だと思っていても、ウェイトレスの方の小さな気遣いの積み重ねが、お客様の食事をより良いものにしているのだと学びました。

また、この高校生ホテルを成功させるため、精一杯取り組んできた研修では、初めて聞くことや、ホテルスタッフの細かい知識を得ることができました。座席への案内や、お皿の運び方、ワインの注ぎ方など、普段教えてもらうことができない専門的なことまで知ることができ、とても貴重な体験をさせていただいているのだと改めて実感しました。

私は、高校生ホテルを体験しに、神港橋に入学しました。高校生のうちから本格的な仕事の体験ができるということは、必ず自分の将来に

役立つと思ったからです。私は卒業後、ホテルに就職したいと考えたこともあったので、自分の進路について考え直す、いい機会になりました。ホテルスタッフの仕事は忙しく、常に周りに気を使わなければならない大変な仕事です。その反面、自分の小さな気遣いをお客様に気づいてもらえた時、笑顔でお礼を言われた時の喜びはとても大きいと思います。今回の高校生ホテルでも、たくさんのお客様に「ありがとう」や「頑張ってるね」などの言葉をいただけて、心の底からうれしく思いました。研修の時は、不安と緊張で胸がいっぱいでしたが、本番当日に来てくださったお客様は、優しくあたたかく迎えてくれたので落ち着いて接客することができました。

無事に成功で終わることができた今、この企画の一員として参加することができて本当に良かったと思えました。ホテルのほとんどの作業を高校生たちが行い、運営することができ、自分自身もたくさんの学びや気づきがあり、大きく成長することができたと思います。貴重な体験ができたことに感謝したいです。

#### 「高校生ホテルを終えて」2年1組 Yさん

高校生ホテルは私が活用コースを選んだ理由の一つで、高校入学前からとても興味を持っていました。普段は接客される側の私たちですが、ホテルという引き締まった場で高校生のうちに接客をさせていただけるというのは、他ではすることができないとても貴重な体験だと思い、とても楽しみにしていました。

私はレストランで接客をさせていただくことになり、実際にホテルでの研修にたくさん参加させていただきました。研修初日にはどんなことをするのかとても気になっていましたが、初めに言われたのは「まっすぐ歩いてみて」という指示でした。私の中で接客の研修では、お客様を案内したりお皿をテーブルに運んだりする練習をするというイメージがあったので、予想外の指示に驚きました。簡単なことだと思いまっすぐ歩いてみましたが、それだけの動作であ

ってもいくつもの細かい指摘をいただいたので、人前で働くことはとても緊張感が大切なことであると理解しました。その後の研修では、料理の運び方やお客様への対応方法など、単純そうでも細かいところに目を向ければとても判断力や工夫が必要な内容をたくさん学び、練習を重ねました。後半の研修では、実際の宴会などの接客に参加させていただくことが多くあり、初めは戸惑うこともありましたが、毎回アドバイスや注意点を言っていただけたりと、ホテルの方を手本にしたりしてたくさん学ぶことがあったので、自信を徐々につけていくことができました。

当日は、私たち高校生だけが表に出て接客をしたので緊張を不安でいっぱいでしたが、周りには今まで一緒に頑張ってきた仲間がいたので、落ち着いて実習することができました。お客様からもたくさんの喜ばしい言葉をいただけてとてもやりがいを感じました。高校生ホテルでは、積極的に行動することは大切ですが、すべてを無理に一人だけでしようとするのではなく、時には頼ったり頼られたりすることが必要で、仲間はとても偉大な存在であることを身に染みて感じるすることができました。

## 7 おわりに

生徒達の中には、「高校生ホテルに参加したい」と本校に入学した生徒も多くいた。研修に参加することで、レストラン、フロント、宿泊清掃のどの仕事も重要であり、大変であることを生徒達は身を持って知ることが出来た。仕事の大変さを学ぶ機会となった。当日までは仕事をする大変さが勝っていたが、当日はやり切った充実感と、「ありがとう」と言われることの嬉しさを感じたようである。

ここ数年のコロナ禍の中、観光ビジネスの取り巻く環境は非常に厳しい状況である。そのようななか、生徒の受け入れや指導などに奔走いただいたホテル北野プラザ六甲荘様にこの場を借りお礼申し上げたい。